

目 次

〈 繊維情報 〉

・2006年6月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品).....	1
・2006年5月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類).....	7
・アジア 中国 2006年1～5月の繊維品貿易・輸出は高率の伸びを維持、輸入も大幅な増加推移.....	10
インド 2005年の繊維品貿易・輸出は大躍進、輸入も高い伸び率.....	14
インドネシア 2006年1～3月の繊維品貿易・輸出は堅調、輸入は低調な推移.....	17
・米州 米国 2006年5月の繊維品輸入、2カ月連続の増加.....	20
2006年6月の大手小売店販売、減速.....	22
・欧州 E U 2006年1～3月の繊維品輸入・東アジア諸国が大幅に増加.....	25

〈 組合関係の会議と催事 〉

・(2006年7月)(2006年8月のスケジュール).....	28
---------------------------------	----

〈 お知らせ 〉

・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」(輸出).....	31
・9月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入).....	32

〈 組合員情報 〉

・組合員情報.....	32
-------------	----



◎ 2006年6月の繊維品輸出概況

I. 繊維品全体の輸出

－前年同月比1%増の7億7,321万ドルと2ヶ月連続の増加－

2006年6月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比1%増の7億7,321万ドル（1-6月：前年同期比3%減）と微増ながら2ヶ月連続の増加となった。

また、為替が2005年6月の108.63円に対し、2006年6月は114.53円と約5%強の円安推移となっていることから、円ベースでは6%増（同6%増）の886億円と、今年に入り、2月以降増加推移を示している。

<主要地域別輸出>

6月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の76%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けが、前年同月比横ばい（同4%減）の6億1,348万ドルとなった。

東アジアの主要国向けでは、最大市場の中国が2ヶ月連続の増加となり、またマレーシアも好調に推移したが、その他の市場は、ベトナムが横ばいに止まり、香港、韓国、台湾、タイ、シンガポール、フィリピン、インドネシアは減少推移となった。

純輸出市場向けは、シェア4%の西アジアは、サウジアラビアが減少したが、アラブ首長国、イランが好調を維持し、全体として3%増（同24%増）の2,628万ドルと、依然増勢を保っている。

欧米市場は、シェア8%のEUは、織物類は不振となっているが、綿類、アパレル、その他二次製品が健闘し、5%増（同8%減）の5,208万ドルと増加、一方、同じくシェア8%の米国は、原料（綿・糸）、ニット生地が好調に推移し、6%増（同3%増）の5,433万ドルとなった。

<主要商品別輸出>

6月の輸出を主要商品別にみると、まず綿類の輸出は、全体としては、数量で横ばい（同横ばい）、金額で4%増（同3%増）となった。

太宗の合繊綿は、数量で6%増（同3%増）、金額で9%増（同4%増）となった。

この内、主力のアクリル綿は、主要国の中国、イランが大きく伸び、インドネシアは後退したが、数量で7%増（同4%増）、金額で8%増（同7%増）と数量、金額共に好調な推移となった。

一方、ポリエステル綿は、米国は不振となったが、中国、タイ、EUが好調に推移し、数量で12%増（同1%増）、金額で5%増（同3%減）となった。

その他の合繊綿では、ビニロン綿は、主力のEU向けが不振で、数量で26%減（同15%減）、金額で26%増（同17%減）と大きく後退した。

繊維品輸出実績（2006年6月）

単位	2006年6月						2006年1月～6月						2005年実績		
	数量	金額		数量	金額		数量	金額		前年同期比		数量	金額		
		百万円	千ドル		百万円	千ドル		数量	円	ドル	百万円		千ドル		
繊維品総合計															
原料(綿)合計	33,911	9,771	85,313	100	104	206,599	101	104	447,523	3,871,593	106	97	416,305	890,100	8070,165
スフ綿	4,973	2,016	17,600	85	91	29,356			12,117	104,783	96	112	63,446	23,495	978,717
合繊綿 (ポリエステル)	26,317	7,586	66,240	106	109	161,598	105	104	44,348	383,355	103	113	316,728	81,370	739,213
(アクリル)	3,766	687	5,995	112	105	23,447	108	107	4,180	36,139	101	106	45,356	7,900	71,868
糸 合計	20,078	5,332	46,557	107	108	123,808	102	102	32,228	278,601	104	116	242,939	59,092	536,513
人絹糸	11,652	8,864	77,396	102	102	65,882	94	94	49,175	425,474	99	105	132,208	95,133	864,266
スフ糸	997	820	7,163	97	121	5,851	99	104	4,920	42,594	90	107	12,825	9,694	87,856
合繊長糸 (ナイロン)	38	56	485	92	103	191	103	104	222	1,925	101	88	306	430	3,918
(ポリエステル)	9,539	6,746	58,902	103	104	54,529	104	104	38,275	331,059	100	104	107,118	72,886	662,944
合繊短糸 (ナイロン)	2,017	1,519	13,264	127	104	11,928	100	92	8,821	76,274	93	104	23,971	16,878	153,473
(ポリエステル)	3,350	1,511	13,189	90	92	19,705	123	123	9,106	78,745	95	101	39,619	17,695	161,032
綿 糸	512	450	3,932	117	123	2,097	84	87	1,792	15,529	95	105	4,378	3,565	32,329
綿 糸	380	298	2,599	84	87	2,349	103	98	1,779	15,388	98	90	5,540	4,213	38,008
織物合計	122,629	36,537	319,016	103	98	590,069	98	98	172,412	1,491,707	100	102	1,220,260	359,644	3,257,973
絹織物	641	1,084	9,467	73	88	4,020	88	88	6,622	57,233	104	100	8,261	13,387	121,576
人絹織物	7,023	2,432	21,231	91	99	35,400	99	99	12,622	109,142	92	106	81,049	25,408	230,287
スフ織物	955	462	4,038	75	90	4,953	90	90	2,078	17,972	79	80	12,434	5,172	46,859
合繊長織物 (ナイロン)	60,958	13,530	118,136	105	100	274,712	100	100	59,018	511,093	103	105	569,210	121,637	1,100,944
(ポリエステル)	7,535	1,633	14,258	132	132	34,659	100	100	7,330	63,563	124	137	58,693	11,881	107,382
合繊短織物 (ナイロン)	47,322	10,169	88,789	102	100	209,578	100	100	43,006	372,510	100	104	447,797	91,064	824,217
(ポリエステル)	16,446	3,845	33,576	101	92	87,504	92	92	19,717	170,549	107	104	166,976	39,477	358,090
綿織物	30,696	10,809	94,380	104	98	162,280	98	98	56,903	491,716	97	99	324,399	112,859	1,023,683
毛織物	5,725	4,296	37,508	106	102	18,585	106	102	13,424	116,611	90	95	54,172	38,815	350,009
不織布	48,943	5,238	45,736	100	98	293,253	98	98	29,828	257,955	103	111	592,985	55,758	505,607
タイヤード織物	1,281	211	1,939	71	73	7,618	73	73	1,289	11,149	85	90	15,300	2,565	23,416
コート織物	1,987	5,188	45,296	98	96	8,981	96	96	22,766	197,296	97	105	17,585	42,650	387,386
ニット生地		7,590	66,270		107		107	107	34,602	299,565		115		66,435	600,666
アパレル		2,849	24,877		109		109	109	18,928	163,369		100		40,709	370,175
その他		12,308	107,469		103		103	103	60,891	526,858		109		119,428	1,081,958

(注) 1. 繊維品総合計は、HS関税分類11部の合計。 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。

3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

スフ綿は、韓国、パキスタン、トルコが増加したが、最大市場の中国が激減し、数量で 15% 減（同 4% 減）、金額で 9% 減（同 3% 増）となった。

糸類の輸出は、数量で 2% 増（同 1% 減）、金額で 2% 増（同 3% 減）と、数量、金額共に堅調な推移となった。

主力の合繊長繊維糸は数量で 3% 増（同横ばい）、金額で 3% 増（同 4% 減）となった。

その内訳は、ポリエステル長繊維糸は、中国は増加したが、米国、EU が振るわず、数量で 10% 減（同 5% 減）、金額で 8% 減（同 8% 減）となった。一方、ナイロン長繊維糸は、中国は減少したが、タイ、インドネシア、EU が大幅に伸び、数量で 27% 増（同 7% 減）、金額で 4% 増（同 5% 減）となった。その他の合繊長繊維糸では、ポリウレタン糸は、主力の中国を中心とする東アジアが不振で、数量で 9% 減（同 9% 減）、金額で 13% 減（同 23% 減）と後退した。

また、人絹糸は、中国が伸びたが、韓国、EU が不振で、数量で 3% 減（同 10% 減）、金額 6% 減（同 2% 減）となった。

太宗の織物類の輸出は、数量で 3% 増（同横ばい）、金額で 2% 減（同 6% 減）と、数量増の金額微減となった。

織物の内訳では、中心品目のポリエステル長繊維織物は、数量で 2% 増（同横ばい）、金額で横ばい（同 4% 減）となった。

地域的には、全体の 71% を占める東アジア向けは、ベトナム、タイは減少したが、最大市場の中国を始め、香港、韓国、台湾、スリランカが好調に推移し、東アジア全体として 5% 増（同横ばい）となった。

一方、純輸出市場向けは、これまで好調に推移してきた、西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国が共に減少に転じ、西アジア全体として 9% 減（同 14% 増）と減少推移となった。

欧米市場向けは、EU は 9% 減（同 9% 増）と減少したが、米国は 8% 増（同 15% 減）と徐々に増加に転じた。

ナイロン織物は、数量で 32% 増（同 24% 増）、金額も 32% 増（同 26% 増）と好調を持続している。

シェア 85% の東アジア向けは、主力の中国、ベトナム、韓国が大きく伸び、全体として 36% 増（同 33% 増）と大幅に増加した。その他では、シェア 6% の米国は 6% 減（同 26% 減）と後退が続いている。

綿織物は、数量で 4% 増（同 3% 減）、金額で 2% 減（同 9% 減）と、数量増の金額減となった。

84% のシェアを占める東アジア向けは、最大市場の中国、ベトナム、韓国、マレーシアが増加推移となり、香港、タイは減少したが、東アジア全体として 9% 増（同横ばい）となった。その他の市場では、シェア 10% の米国は 25% 減（同 12% 減）と大きく後退した。

ポリエステル短繊維織物は、数量で 6% 増（同 9% 減）、金額で 5% 減（同 3% 減）と数量増の金額減となった。

全体の 60% を占める東アジア向けは、中国が微減となったものの、ベトナム、香港、シンガポールが大幅に増加し、東アジア全体として 11% 増（同横ばい）となった。一方、シェア

39%の民族衣装用の西アジアは、クエートが大幅な増加となったものの、アラブ首長国、サウジアラビアが揃って減少に転じ、西アジア全体として5%減（同27%増）となった。

人絹織物は、数量で9%減（同8%減）、金額で1%減（同3%減）と数量、金額共に減少推移となった。

シェア74%の東アジアは、最大市場の香港は微増となったが、中国が減少し、東アジア全体として7%減（同6%減）となった。シェア13%の西アジアは、サウジアラビアは減少したが、アラブ首長国が大きく伸び、全体として8%増（同13%増）となった。一方、欧米市場は、EUが29%減（同23%減）、米国は22%減（同16%減）と共に不振に終わった。

毛織物は、数量で6%増（同10%減）、金額で2%増（同12%減）と数量、金額共に久しぶりに増勢推移となった。

地域的には、東アジアが96%とほぼ全量を占めている。香港、ベトナムは減少したが、圧倒的なシェアを占める持ち帰り用の中国が大きく増加し、東アジア全体として7%増（同11%減）となった。

不織布の輸出は、数量で横ばい（同3%増）、金額で2%減（同2%増）となった。

全体の54%を占める東アジアは、最大市場の中国は好調に推移したが、香港、韓国、台湾、タイが減少し、全体として19%減（同15%減）となった。

一方、欧米市場は、シェア36%の米国は52%増（同57%増）と好調を維持し、量的には最大の市場になっている。一方、シェア6%のEUは33%減（同15%減）と大幅な減少となった。

コーテッド織物の輸出は、数量で2%減（同3%減）、金額で4%減（同4%減）と数量、金額共に減少した。

全体の82%を占める東アジアは、最大輸出先の中国、ベトナムが好調に推移し、香港は減少したが、全体として2%増（同1%減）となった。欧米市場は、シェア6%のEUは6%増（同14%増）と増加したが、シェア5%の米国は39%減（同44%減）と大幅な減少となった。

ニット生地の輸出は、数量で2%増（同6%増）、金額で7%増（同6%増）と数量、金額共に引き続き堅調な推移となった。

全体の約9割強を占める東アジア向けは、主要国では、韓国、台湾が大幅な増勢となり、一方、中国、香港、ベトナム、タイ、インドネシアは減少推移となった。

また、欧米市場向けは、米国、EUともに大幅な増加となった。

アパレルの輸出は、金額で9%増（同9%減）と徐々に増加に転じた。

内容的には、布帛製衣類の外衣類は、台湾、香港、中国、韓国、米国、EUが揃って好調に推移し、金額で21%増（同5%減）となった。下着類は、台湾、中国が減少したが、韓国、香港が健闘し、金額で4%増（同4%増）となった。

一方、ニット製衣類では、外衣類は、香港、台湾は減少したが、中国、韓国が好調で、金額で57%増（同3%増）となった。また、下着類は、香港は減少したが、台湾が大幅に増加し、

金額で30%増（同21%減）となった。

その他二次製品は、金額で3%増（同横ばい）と堅調な推移となった。

II. 原料（綿・糸）の輸出

<綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計は、ビニロン綿、スフ綿が2桁の減少推移となったが、主力のアクリル綿及びポリエステル綿が堅調な伸びを示し、全体では横這い推移の33,911トン、金額については4%増の8,531万ドルとなった。

<糸輸出>

糸は、人絹糸、綿糸が不振に推移したが、合繊短繊維糸及び主力の合繊長繊維糸が増加推移となり、全体では2%増の11,652トン、金額についても2%増の7,740万ドルとなった。

2006年6月の原料（綿・糸）の輸出状況

単位：トン、千ドル、セント、%

	2006年6月				2006年1～6月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	4,973	85	17,600	354	29,356	96	104,783	357
合繊綿	26,317	106	66,240	252	161,598	103	383,355	237
ポリエステル	3,766	112	5,995	159	23,447	101	36,139	154
アクリル	20,078	107	46,557	232	123,808	104	278,601	225
他合繊綿	2,474	95	13,687	553	14,342	93	68,615	478
人絹糸	997	97	7,163	719	5,851	90	42,594	728
合繊長糸	9,539	103	58,902	617	54,529	100	331,059	607
ナイロン	2,017	127	13,264	658	11,928	93	76,274	639
ポリエステル	3,350	90	13,189	394	19,705	95	78,745	400
他合長糸	4,171	106	32,449	778	22,898	108	176,040	769
綿糸	380	84	2,599	684	2,349	98	15,388	655

出所：財務省統計

Ⅲ. 織・編物（絹・化合織・綿・毛）の輸出

6月の織物（絹・化合織・綿・毛）の輸出は、量的には、ポリエステル長繊維織物、ナイロン織物、ポリエステル短繊維織物、綿織物の主要織物が揃って増加推移となったが、単価は概して低下傾向となり、織物トータルとしては、数量で前年同月比3%増（1-6月：前年同期比横ばい）、但し、金額では2%減（同6%減）となった。

なお、この織物トータルの中には含まれていない、ニット生地は堅調推移、コーテッド織物は微減推移となった。

2006年6月の織・編物（絹・化合織・綿・毛）の輸出状況

単位：1000SM、1000\$、前年比は数量比%

	2006年6月			2006年1-6月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	641	9,467	73	4,020	57,233	104
人絹織物	7,023	21,231	91	35,400	109,142	92
スフ織物	955	4,038	75	4,953	17,972	79
合織（長）織物	60,958	118,136	105	274,712	511,093	103
ポリ（長）織物	47,322	88,789	102	209,578	372,510	100
ナイロン織物	7,535	14,258	132	34,659	63,543	124
合織（短）織物	16,446	33,576	101	87,504	170,549	107
ポリ（短）織物	15,900	32,030	106	82,028	159,951	109
綿織物	30,696	94,380	104	162,280	491,716	97
毛織物	5,725	37,508	106	18,565	116,611	90
コーテッド織物	1,987	45,296	98	8,981	197,296	97
ニット生地	18,766	66,270	102	92,316	299,565	106

(注) 1. ポリエステル（長）、ナイロン（長）織物は、ポリエステル、

ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。

2. コーテッド織物の数量単位はトン。

市場的には、織物トータルでは、主力の東アジアは、主要国では、最大市場の中国、韓国、インドネシアが数量、金額共に前年同月を上回り健闘した。

一方、香港、シンガポールはほぼ横ばい推移、ベトナムは数量増の金額減、また台湾、タイ、フィリピンは数量、金額共に前年同月を下回った。

純輸出市場では、これまで好調を持続してきた西アジアは、サウジアラビアが数量、金額共に前年同月を大きく下回り、アラブ首長国は数量横ばいの金額増と、総じて低調な推移となった。

欧米市場は、EUは主力のポリエステル長繊維織物が振るわず、また米国はポリエステル長繊維織物は健闘したが、綿織物が大幅に減少し、何れも数量、金額共に減少推移となった。

IV. 主要繊維二次製品の輸出

繊維二次製品の2006年6月の輸出は、金額（ドル）ベース（以下同じ）で、アパレルは総じて堅調に推移し、全体では前年同月比9%増の24,877千ドルとなった。

他方、その他の品目については、敷物及び細幅織物・紐類が減少推移、漁網・その他の網・網地が増加推移となった。

2006年6月の主要繊維二次製品輸出状況

単位：千米ドル、金額：前年比%

	2006年6月		2006年1～6月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	15,210	106	95,439	95
外 衣	8,182	121	56,032	95
下 着	3,617	104	22,734	104
スカーフ・マフラー	800	91	3,489	99
ニット製衣類・付属品	9,667	112	67,930	87
外 衣	2,909	157	21,507	103
下 着	3,659	130	32,033	79
敷 物	2,210	67	14,265	91
漁 網 ・ 網 ・ 網 地	3,610	112	22,795	112
細 幅 織 物 ・ 紐 類	18,473	92	89,953	94

◎ 2006年5月の繊維品輸入概況

1. 繊維製品計

5月の輸入は、金額が円ベース前年同期比112.1%（前月比は75.9%）、ドルベース同107.4%（前月比は79.7%）、数量(重量)同102.1%（前月比は86.7%）と、円金額が10ヶ月連続で増加、ドル金額と数量は3ヶ月連続で増加した。前月比は、端境期を迎え金額、数量ともに減少した。

糸類は数量で前年同期比 12.5%減と前月よりマイナス幅が拡大し 12ヶ月連続で減少。内訳は、絹糸、毛糸、人織(長)糸が増加し、綿糸、人織(短)糸、その他の糸が減少した。織物類は同 7.3%増と 2ヶ月ぶりに増加。綿織物、人織(短)織物、メリヤス生地、その他の織物が増加、絹織物、毛織物、黄麻織物、人織(長)織物が減少した。衣類は同 4.6%増と 3ヶ月連続で増加。衣類を除くインテリア用品等の二次製品は同 4.0%増と 3ヶ月続けて増加した。

前月は前年同期比で円金額が 15.1%増加、ドル金額が 5.5%の増加、数量も 1.2%の増加となったが、今月は円金額が 12.1%増加、ドル金額が 7.4%の増加、数量も 2.1%の増加と、前月と比べ円高だった影響を受けた円金額を除き、前月を上回る増加率となった。5月の為替相場は前年同月比 4.3%円安の 111 円 51 銭であった。ドル金額の内訳を見ると、糸類が 0.1%増加、織物類は 10.4%、太宗を占める衣類は 8.5%、二次製品は 2.5%それぞれ増加し、繊維製品計では 7.4%の増加となった。

2. うち糸類

- 綿糸の輸入実績は、トンベースで前月比ほぼ横ばいとなったものの、前年同月比は 38.8%と大きく減少となり 5ヶ月連続のマイナスとなった。綿糸輸入の 83%を占める純綿糸の輸入を前月に比較すると 2.3%の減となり、国別では首位のパキスタン、2位のインドネシア、4位の中国はほぼ横ばいとなったものの 3位のインドは 15.0%の減少、その他は 10.9%の増加となった。番手別に見ると、40番手中心が 10.5%の 2桁の増加となったものの、20番手中心 2.3%、30番手中心 7.2%、40番手以上も 8.5%のそれぞれ減少となった。また、糸種別にみるとカード糸が 8.8%のプラスとなったがコーマ糸は 9.9%のマイナスとなった。なお、混紡綿糸は 10.2%増と 3ヶ月連続で増加となった。
- 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース 11.6%増と 2ヶ月ぶりの増加となった。糸種別に見ると、紡毛糸が同 24.3%増と 5ヶ月連続の増加、太宗を占める梳毛糸も同 11.1%増となった。国別では、トップシェアの中国が同 23.6%増と 2ヶ月連続で増加、第2位のマレーシアも同 12.4%増加した。この他の主要国ではタイ、台湾が増加、ペルー、イタリア、インドからの輸入が大きく減少した。
- 人織糸の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が前月並の 11,600 トン台で 2ヶ月連続して増加となり、前年同月比も 0.3%の増加となった。主要商品別に前月に比較すると、主力商品の台湾からのポリエステル糸 2.0%、米国を中心とするナイロン糸は 13.7%の増加となったが、量的に少ない人絹糸は 46.3%と大きく減少した。一方、人織(短)糸は主力商品の T/C,T/R 糸のインドネシアからのポリエステル紡績糸は 15.2%、インドネシア、中国からのマイヤー毛布用のアクリル紡績糸も 15.8%の 2桁以上の減少となり、ガムテープ、ふすま用のスフ糸も僅かであるが 1.0%のマイナスとなった。

3. うち織物類

- ▶ 綿織物の輸入実績は、面積ベースで前月比 7.5%、前年同月比も 6.5%それぞれ増加となった。これは、需要の回復によるものではなく、輸入をはじめとする供給の絞込みによる需給バランス調整の一時的なものと思われ、国別で前月に比較すると、首位で全体の約 8 割を占める中国が 7.3%、2 位のインドネシアは 27.4%それぞれ増加となったが、パキスタン等その他の国は 8.7%の減少となった。品種別にみると、金巾がほぼ前月並の 1.1%の微減となったが主力のポプリン 24.4%、粗布・細布は 7.1%それぞれ増加となった。
- ▶ 毛織物の輸入実績は、面積ベースで前年同月比 7.2%減少し、4 ヶ月ぶりの減少となった。中国からの輸入が同 8.9%減、イタリアからの輸入が 8.7%減と、前月までとは一転して上位 2 ヶ国が減少、第 3 位のイギリスからの輸入も同 10.0%減少した。品種別では、紡毛織物が同 29.5%減と 2 ヶ月続けて減少、主力の梳毛織物も同 1.8%減と 4 ヶ月ぶりに減少した。
- ▶ 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月に比べ 0.2%の微減に留まったものの、前年同月比は 5.7%の減少となり 19 ヶ月ぶりのマイナスとなった。これは、主力商品のポリエステル織物の大幅な落ち込みによるもので、これ以外ではナイロン織物、ポリプロピレン等その他織物が前月に比べ大きく増加した。一方、人織(短)織物は中国、インドネシアからの T/C 織物、ガムテープ用のスフ織物は前月比、前年同月比とも大きな変化は見られなかった。

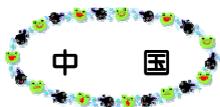
4. うち衣類

ニット製衣類が対前年同月比(枚数)で 6.6%増、布帛製衣類も同 8.8%増、身の廻り品も重量ベース 0.7%増となり、衣類計で重量ベース 4.6%増となった。ニット製衣類、布帛製衣類、身の廻り品ともに 3 ヶ月連続で増加、衣類計も 3 ヶ月連続での増加となった。

主要国別に見ると

- ▶ 中国は対前年同月比(枚数)でニット製衣類が 7.8%増加し 3 ヶ月連続で増加、布帛製衣類も 8.7%増加し 3 ヶ月連続で増加、身の廻り品も重量ベース 0.6%増で 3 ヶ月連続の増加となった。今年 1~5 月の衣類計(重量)のシェアは 90.6%(金額ベースでのシェアは 82.2%)。
- ▶ 韓国はニット製衣類が同 17.7%減少、布帛製衣類も同 22.8%減で前月まで 12 ヶ月連続で 1.5 倍を超える大幅増加から一転減少となった。ニット製衣類が 3 ヶ月ぶりの減少、布帛製衣類は 14 ヶ月ぶりに減少した。
- ▶ イタリアはニット製衣類が同 6.0%減と 17 ヶ月連続で減少、布帛製衣類も同 12.1%減と 12 ヶ月連続で減少。

- ▶ ベトナムはニット製衣類が同 8.6%増と 3 ヶ月ぶりの増加、布帛製衣類も同 6.0%増と 8 ヶ月連続で増加した。
- ▶ 商品別には、ニット製衣類ではジャケット、ズボン、ドレス、スカート、アウターシャツ、セーター、下着類が増加、コート、スーツ、アンサンブル、スポーツウェアが減少。中でも、ドレスは前月同様に対前年同月比（枚数）83.8%の大幅増となった。布帛製外衣類では紳士用が同 6.1%増、婦人用も同 11.3%増加した。紳士用では、コート、ジャケット、ズボン、下着類が増加、スーツ、アンサンブルは減少、婦人用は、ジャケット、ドレス、スカート、ズボン、ブラウスが増加、コート、アンサンブル、下着類が減少となった。



◎ 2006 年 1～5 月の繊維品貿易・輸出は高率の伸びを維持、輸入も大幅な増加推移

【輸 出】

—25%増の 475 億 4,012 万ドルと高率の伸びを維持—

新たに欧米向けに規制枠が設定され、その動向が注目される、2006 年度の中国の繊維輸出であるが、1～5 月の輸出は前年同期比 25%増と依然高率の伸びを維持している。

単月での伸びを見ると、1 月の 24%増、2 月 4%増、3 月 36%増、4 月 27%増、5 月 31%増と、2 月に一度鈍化したが、それ以降は再び高い伸びを記録している。

<地域別、国別輸出状況>

地域別では、東アジアがシェア 43%（同 23%増）、ヨーロッパが 24%（同 38%増）、北米が 14%（同 4%増）、西アジアが 6%（同 36%増）、中米が 3%（同 62%増）、南米が 2%（同 48%増）、アフリカが 5%（同 27%増）、大洋州が 2%（同 12%増）の市場構成となっている。

国別では、1 位日本（71 億 3,681 万ドル：11%増）、続いて EU（68 億 5,676 万ドル：10%増）、香港（65 億 4,228 万ドル：23%増）、米国（58 億 6,578 万ドル：横ばい）、韓国（20 億 2,910 万ドル：46%増）、ロシア（13 億 888 万ドル：38%増）、アラブ首長国（9 億 8,779 万ドル：19%増）、カナダ（9 億 3,656 万ドル：44%増）、オーストラリア（9 億 1,503 万ドル：12%増）、シンガポール（7 億 2,024 万ドル：73%増）の順で、この 10 大市場で輸出全体の 70%のシェアを占めている。

去年は、枠が撤廃された EU、米国向けが衣料品を中心に、特に突出した伸びとなったが、今年は EU、米国向けに枠が新たに設定されたこともあり、両国への伸びは大幅に鈍化し、

代わって、韓国、香港、シンガポール等の東アジア、ロシア、カザフスタン等の旧東欧諸国、アラブ首長国、サウジアラビアの西アジア諸国、中南米諸国等が大きく伸びているのが、2006年に入ってからの特徴的な傾向である。

<品目別輸出状況>

品目別では、中国の繊維品輸出全体の60%を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品の輸出が、枠制限により、米国、EU向けの伸びが昨年と比べ減速しているにも拘らず、東アジア諸国等、その他の諸国が伸び、29%増の287億211万ドルと大幅な伸びを維持していることが注目される。

内容的には、ニット製の衣料品及び同付属品の輸出が43%増の139億7,271万ドルと大きく伸び、また布帛製衣料品及び同付属品の輸出も19%増の147億2,940万ドルと高い伸びを維持している。

衣料品について主要輸出先をみると、ニット製衣料品は、トップ市場は日本(27億1,586万ドル:16%増)、続いて香港(16億1,677万ドル:75%増)、EU(16億569万ドル:5%減)、米国(11億9,195万ドル:20%減)、ルーマニア(10億8,178万ドル:10倍増)、韓国(5億9,038万ドル:80%増)、ロシア(5億7,619万ドル:113%増)、オーストラリア(3億9,832万ドル:7%増)、カザフスタン(3億7,399万ドル:240%増)の順となっており、米国、EUが昨年の激増もあり、減少推移となっているが、他方東アジアの香港、韓国また東欧のロシア、ルーマニア、カザフスタン向け等が激増しているのが注目される。

また、布帛製衣料品の輸出先は1位が日本(31億7,292万ドル:7%増)、EU(28億952万ドル:16%増)、米国(24億3,499万ドル:4%減)、香港(14億8,277万ドル:18%増)、韓国(6億4,027万ドル:51%増)、ロシア(4億3,397万ドル:1%増)、カナダ(3億8,620万ドル:41%増)、ルーマニア(3億6,647万ドル:542%増)の順で、ここでも、米国は減少推移、一方、韓国、香港、ロシア、カナダ、ルーマニア向けの増加が目立っている。

織物類の輸出は、太宗の綿織物、また合繊短繊維織物が好調に推移しており、ポリエステル長繊維織物は伸び悩んでいるが、全体として、数量で9%増の70億586万メートル、金額で12%増の65億5,126万ドルと数量、金額共に順調に推移している。

糸類の輸出も好調で、合繊長繊維糸、特にポリエステル長繊維糸の増加が著しく、また太宗の綿糸も大幅に増加しており、全体として数量で26%増の69万4,323トン、金額で23%増の24億3,059万ドルと、数量、金額共に好調な推移となっている。

綿類の輸出も、合繊綿、スフ綿の輸出が大きく伸び、数量で28%増の18万6,162トン、金額で13%増の5億2,503万ドルと規模は未だ小さいが、好調に推移している。

【輸 入】

—27%増の108億9,761万ドルと大幅な増加推移—

繊維品輸入は、織物の輸入は減少しているが、綿類で、国内の綿花不足から特に米国からの綿花の輸入が激増していることもあり、全体として27%増の108億9,761万ドルと大幅な

伸びとなっている。

この結果、中国の1～5月の繊維品貿易収支の黒字額は前年同期比25%増の366億4,250万ドルとなっている。

<地域別、国別輸入状況>

地域別では、東アジアがシェア65%（前年同期比：11%増）を占め、西アジアが4%（同127%増）、ヨーロッパが6%（同80%増）、北米が15%（同141%増）、中米が0.3%（同41%減）、南米が1%（同133%増）、アフリカが4%（同240%増）、大洋州が5%（同21%増）の市場構成となっている。

国別では、1位米国（15億9,991万ドル：150%増）、続いて台湾（13億6,617万ドル：1%増）、日本（13億3,753万ドル：5%減）、韓国（11億71万ドル：7%減）、香港（7億1,467万ドル：12%増）、EU（6億1,986万ドル：8%増）、インド（5億2,931万ドル：444%増）、オーストラリア（4億9,841万ドル：21%増）、ウズベキスタン（3億3,195万ドル：120%増）、パキスタン（3億ドル：39%増）の順で、この10大市場で全体の輸出の77%のシェアを占めている。

<品目別輸入状況>

品目別輸入を見ると、綿関係では、化合繊の輸入は低調な推移となったが、天然繊維の輸入が米国よりの綿花を中心に著増しており、全体として、数量で103%増の281万3,899万トン、金額で87%増の41億4,233万ドルと大幅な増加となっている。

糸関係は、太宗の綿糸が大きく増え、合繊長繊維糸は、ほぼ横ばいで推移しているが、全体として数量で12%増の73万4,348万トン、金額で13%増の18億170万ドルと数量、金額共に2桁の増加となっている。

一方、織物類は、綿織物、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物等各品目ともに総じて低調な推移となり、トータルで数量では8%減の16億6,198万メートル、金額で5%減の21億8,690万ドルとなった。

その他品目では、ニット生地が金額で9%増の7億9,319万ドル、コーテッド織物が8%増の4億4,382万ドルとなっている。

また、衣料品は、未だ額は僅少であるが、ニット製衣料品が47%増の2億7,241万ドル、布帛製衣料品が21%増の3億3,345万ドルと高い伸び率となっている。

2006年5月の中国の繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸 入				輸 出				
	2005年実績		2006年1月～5月		2005年実績		2006年1月～5月		前年比
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計									
原料(綿)合計	TON	23,446,081	TON	10,897,611	TON	107,688,506	TON	47,540,115	125
スフ綿	TON	6,817,524	TON	4,142,326	TON	1,174,664	TON	186,162	113
合繊綿	TON	467,136	TON	137,436	TON	30,613	TON	16,313	198
(ポリエステル)	TON	1,381,998	TON	477,025	TON	327,466	TON	127,910	133
(アクリル)	TON	423,153	TON	143,264	TON	224,833	TON	110,810	135
糸合計	TON	878,156	TON	299,076	TON	4,332	TON	599	183
人絹糸	TON	1,660,050	TON	1,801,703	TON	4,906,807	TON	694,323	123
スフ糸	TON	26,236	TON	36,262	TON	248,178	TON	35,587	130
合繊長繊維糸	TON	26,879	TON	41,192	TON	126,685	TON	14,278	126
(ナイロン)	TON	616,570	TON	619,659	TON	898,133	TON	222,226	145
(ポリエステル)	TON	251,020	TON	305,939	TON	269,546	TON	39,056	134
合繊短繊維糸	TON	295,494	TON	193,414	TON	445,658	TON	156,240	149
綿糸	TON	149,671	TON	147,204	TON	955,133	TON	150,605	115
綿物合計	TON	1,697,154	TON	862,249	TON	1,400,269	TON	230,877	126
絹織物	千LM	4,638,058	千LM	2,186,898	千LM	15,443,436	千LM	7,005,859	109
人絹織物	千LM	45,693	千LM	39,922	千LM	721,273	千LM	87,067	80
スフ織物	千LM	82,694	千LM	47,465	千LM	31,193	千LM	16,345	97
合繊長繊維織物	千LM	58,124	千LM	36,974	千LM	660,363	千LM	405,925	117
(ナイロン)	千LM	2,016,102	千LM	741,406	千LM	4,716,087	千LM	2,471,946	97
(ポリエステル)	千LM	660,899	千LM	217,210	千LM	138,571	千LM	111,097	121
合繊短繊維織物	千LM	912,650	千LM	370,259	千LM	3,898,319	千LM	2,063,052	95
綿織物	千LM	695,082	千LM	281,489	千LM	2,289,888	千LM	1,508,978	117
毛織物	千LM	1,564,514	千LM	837,999	千LM	6,031,459	千LM	2,364,933	118
不織布	千LM	70,407	千LM	138,075	千LM	526,030	千LM	36,944	97
タイヤコード織物	TON	135,081	TON	222,306	TON	361,112	TON	76,268	134
コーテッド織物	TON	18,313	TON	28,041	TON	273,436	TON	31,141	94
ニット生地	TON	264,082	TON	443,819	TON	1,120,590	TON	228,468	131
ニット製衣料	TON	460,587	TON	793,188	TON	3,652,257	TON	428,523	134
布帛製衣料						30,875,728		13,972,710	143
その他						35,038,492		14,729,404	119
						14,841,986		6,789,237	123

出所：中国海関統計



◎ 2005年の繊維品貿易・輸出は大躍進、輸入も高い伸び率

<輸出は20%増の169億935万ドルと大躍進>

インドの2005年の繊維品輸出は、20%増の169億935万ドルと、予想されたとおり、クォータ・フリーの恩恵を享受し、欧米向けを中心に大幅な増加を記録、中国に次ぐ、輸出大国としての地位を固めた。

2005年の繊維品輸出を地域別に見ると、シェア39%の欧州は27%増、同29%の北米は39%増と両地域が大きく伸び、同13%の東アジアは10%増となった。この3地域で全体の輸出の81%を占めている。

主要輸出国は、EU（60億4,155万ドル：33%増）、米国（44億9,316万ドル：42%増）、アラブ首長国（10億1,610万ドル：15%減）、カナダ（3億9,682万ドル：9%増）、サウジアラビア（3億5,773万ドル：6%増）、バングラデシュ（3億3,829万ドル：10%増）、中国（2億8,399万ドル：86%増）、トルコ（2億6,362万ドル：9%増）、日本（2億6,726万ドル：16%増）、韓国（2億4,475万ドル：6%増）の順となっており、アラブ首長国を除いて全て好調な推移となった。

品目別輸出を見ると、最大輸出品目は衣料品で、全輸出の48%を占めているが、内訳は、ニット製衣料品が16%増の30億1,684万ドル、布帛製衣料品が35%増の50億6,121万ドルと特に布帛製衣料品の好調が目立っている。

ニット製衣料品市場のベスト5は、EU（15億7,570万ドル：33%増）、米国（8億3,468万ドル：60%増）、アラブ首長国（1億5,770万ドル：40%減）、カナダ（1億3,835万ドル：12%減）、サウジアラビア（5,327万ドル：13%増）で、特に米国とEU向けで80%と圧倒的なシェアを占めている。

布帛製衣料品市場のベスト5は、EU（20億3,105万ドル：53%増）、米国（18億4,362万ドル：48%増）、アラブ首長国（2億8,088万ドル：16%減）、サウジアラビア（1億3,985万ドル：14%増）、カナダ（1億2,539万ドル：36%増）で、布帛製衣料品と同様とEU及び米国で77%と圧倒的なシェアを占め、揃って突出した伸びを記録した。

織物類の輸出は、逆に減少し、全体として、2%減の23億6,571万ドルとなった。主要織物では、綿織物が6%減の8億6,108万ドル、合繊長繊維織物が10%減の6億1,114万ドル、合繊短繊維織物は5%増の3億2,699万ドルとなっている。

綿織物市場のベスト5は、EU（1億6,890万ドル：13%減）、アラブ首長国（6,793万ドル：2%増）、米国（6,512万ドル：5%減）、スリランカ（5,589万ドル：1%増）、バングラデシュ（5,545万ドル：20%減）で、合繊長繊維織物のベスト5は、アラブ首長国（2億2,093万ドル：

19%減)、EU(5,711万ドル:23%増)、マレーシア(4,010万ドル:17%減)、スリランカ(3,239万ドル:44%増)、サウジアラビア(2,636万ドル:23%減)、また合繊短繊維織物のベスト5は、アラブ首長国(1億111万ドル:18%増)、サウジアラビア(4,269万ドル:16%増)、EU(3,388万ドル:6%減)、スリランカ(1,476万ドル:47%増)となっている。

一方、原料関係の輸出は好調で、まず綿類は、綿花、合繊綿、スフ綿が何れも好調で、全体で55%増の4億9,273万ドルとなった。また、糸類は綿糸、合繊長繊維糸が共に好調で、全体として5%増の21億9,390万ドルとなっている。

<輸入も33%増の26億6,363万ドルと高い伸び率を記録>

輸入額は輸出額の6分の1程度と額は小さいが、原料(綿・糸)、織物、衣料品が共に増加し、33%増の26億6,363万ドルと高水準の伸び率となった。

地域別では、東アジアが72%と圧倒的なシェアを占めており、49%増の19億1,025万ドル、続いてシェア11%の欧州が22%増の3億541万ドルとこの両地域からの輸入が大きく伸びている。

国別の主要輸入先は、中国(10億6,561万ドル:70%増)、EU(2億5,947万ドル:25%増)、台湾(1億6,287万ドル:16%増)、韓国(1億977万ドル:9%減)、香港(1億942万ドル:43%増)、豪州(1億834万ドル:4%増)、米国(1億686万ドル:13%減)、タイ(9,339万ドル:47%増)となっている。

品目別では、綿関係では、合繊綿、スフ綿の輸入が増加し、6%増の6億7,410万ドルとなった。

糸関係も、合繊長繊維糸、人絹糸、合繊短繊維糸が共に大幅に増加し、全体で27%増の4億7,410万ドルとなった。

織物関係も、綿織物、合繊長繊維織物、絹織物、合繊短繊維織物など軒並み大幅増加となり、全体で56%増の7億1,488万ドルとなった。

衣料品も、未だ額は僅少であるが、高率の伸びとなっている。



◎ 2006年1～3月の繊維品貿易・輸出は堅調、輸入は低調な推移

<輸出は4%増の22億1,621万ドルと堅調推移>

インドネシアの繊維産業は、中国品等との競合激化、また国内的には、人件費の高騰など諸経費のコストアップもあり、競争力の低下が懸念されているが、2006年1～3月の繊維品輸出は、枠が撤廃された欧米向けを中心に堅調に推移し、前年同期比4%増の22億1,621万ドルとなっている。

地域別輸出をみると、シェア39%の北米は13%増、同24%の東アジアが4%減、同23%の欧州は12%増と、主要地域では、東アジアは減少しているが、特に欧米向けの好調が目立っている。

主要輸出国は、米国(8億3,653万ドル:13%増)、EU(4億3,380万ドル:12%増)、日本(1億2,337万ドル:4%減)、アラブ首長国(6,772万ドル:10%減)、韓国(5,970万ドル:8%増)、トルコ(5,467万ドル:18%増)、ブラジル(4,629万ドル:54%像)、マレーシア(4,136万ドル:5%減)、香港(4,135万ドル:11%減)、シンガポール(3,800万ドル:32%減)、中国(3,695万ドル:5%増)、カナダ(3,187万ドル:4%増)の順となっている。

品目別輸出を見ると、最大輸出品目は衣料品で、全繊維品輸出額の58%を占めているが、このうち、ニット製衣料品の輸出は8%増の4億7,178万ドル、太宗の布帛製衣料品は2%増の8億358万ドルで、特にニット製衣料品の伸びが高くなっている。

ニット衣料品市場のベスト5は、米国(2億6,021万ドル:30%増)、EU(1億2,444万ドル:10%増)、日本(1,290万ドル:9%増)、アラブ首長国(1,071万ドル:38%減)、シンガポール(956万ドル:57%減)の順で、特に米国、EU向けで全体の82%と圧倒的なシェアを占めている。

布帛製衣料品市場のベスト5は、米国(5億757万ドル:3%増)、EU(1億6,733万ドル:14%増)、日本(2,446万ドル:2%増)、カナダ(1,797万ドル:9%減)、アラブ首長国(1,637万ドル:16%減)で、ここでも米国とEU向けで84%と圧倒的なシェアを占め、ニット衣料品同様好調に推移している。

織物類の輸出は後退しており、全体で2%減の2億9,453万ドルとなっている。品種別では、主要織物として、合繊長繊維織物が2%増の1億1,143万ドルと微増、綿織物は2%減の1億508万ドルと微減、合繊短繊維織物は12%減の5,688万ドルとなっている。

合繊長繊維織物市場のベスト5は、アラブ首長国(2,682万ドル:21%増)、EU(1,348万ドル:15%減)、サウジアラビア(889万ドル:2%減)、トルコ(886万ドル:113%増)、マレーシア(811万ドル:3%減)の順となっている。

また、綿織物の主要市場は EU (2,567 万ドル：24%増)、香港 (1,014 万ドル：32%減)、米国 (785 万ドル：22%増)、バングラデシュ (717 万ドル：19%減)、日本 (716 万ドル：7%減) で、合繊短繊維織物の主要市場は、EU (1,438 万ドル：10%減)、日本 (820 万ドル：2%増)、中国 (405 万ドル：10%減)、タイ (356 万ドル：3%増) となっている。

一方、原料関係の輸出は好調で、まず、綿類は、スフ綿、合繊綿が共に大きく伸び、全体で 14%増の 6,360 万ドルとなった。

また、糸類の輸出は、合繊長繊維糸は伸び悩んでいるが、合繊短繊維糸、綿糸が好調に推移し、糸全体としては 9%増の 4 億 3,277 万ドルとなっている。

<輸入は 11%減の 3 億 5,933 万ドルと低調な推移>

輸入は、原料、織物、衣料品関係が揃って低調に推移しており、全体として 11%減の 3 億 5,933 万ドルと 2 桁の減少推移となっている。

地域別では、シェア 53%を占める東アジアからの輸入は 15%減の 1 億 8,910 万ドル、シェア 18%の北米は 25%減の 6,359 万ドル、シェア 8%の大洋州は 22%増の 2,760 万ドル、シェア 8%のアフリカは 38%増の 2,915 万ドル、シェア 7%の欧州は 2%増の 2,460 万ドルで、特に東アジア、北米からの輸入が大きく減少している。

国別の主要輸入先は、米国 (6,279 万ドル：24%減)、中国 (4,780 万ドル：3%増)、台湾 (3,202 万ドル：18%減)、豪州 (2,727 万ドル：23%増)、日本 (2,243 万ドル：4%減)、韓国 (2,077 万ドル：27%減)、EU (2,032 万ドル：7%減)、ブラジル (1,940 万ドル：10%減) の順で、中国、豪州を除いて何れも減少推移となった。

品目別では、綿関係のうち、合繊綿、綿花等の天然繊維原料の輸入が減少し、綿全体で 13%減の 1 億 8,702 万ドルとなった。

糸関係も、人絹糸、ナイロン長繊維糸は増加したが、ポリエステル長繊維糸の輸入が大きく減少し、全体で 6%減の 6,037 万ドルとなった。

織物類の輸入は、綿織物、合繊（長・短）繊維織物が共に大きく減少し、全体として 17%減の 3,522 万ドルとなった。

その他では、ニット生地は 21%減の 1,446 万ドルと減少、一方タイヤコード織物は 4%増の 1,240 万ドルと増加した。

衣料品の輸入は、額的に小さいが、ニット製衣料品が 20%減の 470 万ドル、また布帛製衣料品も 20%減の 591 万ドルと、大幅に減少している。



◎ 2006年5月の繊維品輸入、2カ月連続の増加

2006年5月の米繊維品輸入は、アパレルが4カ月連続の減少となったが、ノン・アパレルが大幅に増加し、全体で3%増と前月に続き増加となった。2006年1～5月の輸入は、2月と3月のマイナスが響いて、1%の微増となっている。

米国の繊維品輸入推移

単位：100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,708	▲0.7	16,103	0.4	32,812	▲0.2
2002年	21,033	25.9	17,256	7.2	38,288	16.7
2003年	23,363	11.1	18,864	9.3	42,227	10.3
2004年	26,985	15.5	19,951	5.8	46,936	11.2
2005年	28,829	6.8	22,010	10.3	50,839	8.3
1月	2,247	5.0	1,646	8.5	3,892	6.4
2月	2,208	17.3	1,759	2.2	3,968	19.4
3月	2,340	4.9	1,728	7.0	4,069	5.8
4月	2,339	1.5	1,550	11.7	3,888	4.4
5月	2,544	8.3	1,704	24.2	4,248	14.2
6月	2,488	▲1.4	2,065	19.5	4,552	7.1
7月	2,352	0.1	1,991	7.3	4,344	3.3
8月	2,592	8.2	2,160	13.3	4,752	10.4
9月	2,489	12.0	2,127	8.9	4,617	9.6
10月	2,576	13.8	1,917	6.3	4,492	9.3
11月	2,420	9.8	1,770	8.3	4,190	9.2
12月	2,235	5.7	1,596	5.9	3,830	5.8
2006年	12,231	4.7	8,134	▲3.0	20,365	1.5
1月	2,502	10.9	1,698	3.2	4,200	7.6
2月	2,152	▲2.5	1,587	▲9.8	3,739	▲5.7
3月	2,361	0.9	1,687	▲2.4	4,048	▲0.5
4月	2,514	7.5	1,494	▲3.6	4,007	3.1
5月	2,702	6.2	1,668	▲2.1	4,371	2.9

注：前年比は増減、▲は減少。 出所：米商務省（DOC）

【5月の輸入】

米商務省が発表した2006年5月の米繊維品輸入は、43億7,100万SME（平方メートル換算）で前年同月比2.9%増となり、2カ月連続の増加となった。5月の輸入のうち、アパレルは2.1%減と4カ月連続の減少となったが、ノン・アパレル（糸、織物、その他繊維製品）は6.2%増となり、全体の増加に貢献した。

地域別輸入では、太宗供給国の中国は 15 億 900 万 SME で 1.9%の若干増にとどまったが、全体の 35%と大きなシェアを占めている。

また、近く WTO (世界貿易機関) 加盟予定のベトナムは 53.6%増の 9,660 万 SME と、大幅に増加した。その他では、台湾が 34.9%増、インドネシが 25.0%増、韓国が 23.4%増、パキスタが 15.7%増、インドが 13.6%増と、東アジア諸国が軒並み二桁の増加となった。

【1～5月の輸入】

2006年1～5月の米繊維品輸入は、203億6,500万 SME で前年同期比 1.5%増と、2月と3月のマイナスが響いて、微増にとどまっている。品目別輸入では、アパレルは 3.0%減となったが、ノン・アパレルは 4.7%増と堅調に推移している。

1～5月の主要地域別輸入状況は、以下の通り。

- 主要地域別輸入では、いわゆるビッグ 4 (中国、韓国、台湾、香港) 及びアセアン、更にその他地域のパキスタン、インド、バングラデシュといった東アジア諸国が活況を呈しているが、米近隣の NAFTA (北米自由貿易協定) パートナーのメキシコとカナダ及び CBI (カリブ海沿岸諸国) は停滞している。
- ビッグ 4 からの輸入は 5.1%増と堅調に推移している。このうち、ビッグ 4 の太宗国の中国は、米繊維輸入規制に伴う衣料品の減少もあって、4.1%の一桁増にとどまっている。それでも、中国からの輸入は全体の 32%を占め、米繊維輸入市場を席卷している。
その他のビッグ 4 構成国では、韓国と台湾が織物を中心にそれぞれ 10.8%、13.5%の増加となったが、香港は逆に織物の不振で 2.4%の減少となった。
- アセアンからの輸入では、主力のインドネシアが 22.6%増、フィリピンが 15.7%増、更に新興のカンボジアが 29.4%増、ベトナムが 34.9%増と、いずれも二桁の大幅増となったことから、アセアン全体としては 18.4%増と大きく伸びた。なお、アセアンからの輸入は衣料品が中心で、全体の 71%を占めている。
- 一方、NAFTA パートナーからの輸入では、衣料品中心のメキシコは 9.9%減、紡織品主体のカナダは 16.2%減となった。この結果、供給国としての順位は、メキシコがパキスタンに追い抜かれてこれまでの第 2 位から第 3 位に、カナダがインドに追い抜かれて第 4 位から第 5 位に夫々転落している。なお、NAFTA パートナーは合わせて 12.8%の減少となっている。
CBI からの輸入は、主要国のホンジュラス、エルサルバドル、ドミニカ共和国がいずれも二桁の減少となり、全体で 15.7%の大幅減となった。CBI からの輸入では、アパレルが 97%と殆どを占めている。
- EU (15 カ国) からの輸入は、主力のイタリーとドイツが共に織物の不振でそれぞれ 22.2%、8.6%の減少となり、全体で 11.8%減となった。

○ 上記の主要地域に含まれない「その他地域」からの輸入では、東アジア諸国が「ポスト・クオータ」のメリットを活かして活発に推移しており、パキスタンが 17.2%、インドが 13.8%、バングラデシュが 13.7%のそれぞれ大幅増となった。なお、このうち、上記の通り、パキスタンはこれまでの供給国第 3 位から第 2 位に、インドは同第 5 位から第 4 位に夫々躍進している。

米国の繊維品輸入推移（主要地域・国別）

単位：100万SME、%

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年 1-5月	前年 同期比
全世界	32,812	38,288	42,227	46,936	50,839	20,365	1.5
NAFTA	7,558	7,722	7,238	7,373	6,892	2,552	▲12.8
メキシコ	4,290	4,335	3,926	4,101	3,883	1,453	▲9.9
カナダ	3,268	3,387	3,312	3,272	3,009	1,099	▲16.2
CBI	3,704	3,830	4,046	4,168	4,169	1,449	▲15.7
ホンジュラス	1,032	1,099	1,165	1,209	1,262	434	▲14.6
エルサルバドル	768	817	895	895	897	258	▲30.5
ドミニカ共和国	773	743	758	772	725	240	▲20.5
ビッグ4	5,911	9,348	12,633	16,128	20,595	8,018	5.1
中国	2,211	4,963	8,288	11,662	16,766	6,456	4.1
韓国	1,383	2,032	2,097	2,301	2,028	878	10.8
台湾	1,224	1,391	1,356	1,302	1,083	460	13.5
香港	1,092	962	892	862	721	224	▲2.4
アセアン	4,390	4,766	4,980	5,140	5,145	2,291	18.4
タイ	1,308	1,316	1,098	1,114	1,052	417	1.7
インドネシア	1,165	1,215	1,151	1,275	1,354	656	22.6
フィリピン	916	817	794	711	643	279	15.7
ベトナム	33	358	827	905	950	455	34.9
カンボジア	389	474	561	673	740	322	29.4
EU（15カ国）	1,868	2,055	2,059	2,063	1,912	743	▲11.8
イタリー	521	518	533	462	385	140	▲22.2
ドイツ	457	551	484	479	453	178	▲8.6
その他	9,381	10,567	11,272	12,064	12,126	5,312	5.7
パキスタン	2,189	2,537	2,690	2,970	3,291	1,519	17.2
インド	1,250	1,545	1,666	1,915	2,335	1,124	13.8
バングラデシュ	1,169	1,150	1,110	1,109	1,314	606	13.7
トルコ	871	1,068	1,026	982	844	298	▲20.0

◎ 2006年6月の米大手小売店販売、減速

米国の国際ショッピング・センター協会（ICSC）が纏めた「米チェーン・ストア販売動向レポート」によると、米大手小売店 56 社の 2006 年 6 月の売上高は前年同月比（既存店比、以下同じ）2.6%増となり、前々月（6.6%増）及び前月（4.5%増）の伸び率を下回った。

米小売アナリストは、「ガソリン価格の高騰、金利上昇などの厳しい消費環境に加え、北東部での冷たくて湿った天候不順の影響で夏物商品が苦戦し、前年同月の大幅増（5.2%増）との比較で、6月の大手小売店販売の伸び率は鈍化した」と分析している。

米大手小売店の売上高の伸び率推移

単位：%

年月	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
1	5.7	4.8	5.2	1.8	5.9	3.6	5.0
2	6.0	3.1	6.2	0.9	6.8	4.9	3.2
3	2.1	1.7	6.4	-0.2	6.8	4.1	1.9
4	7.9	3.8	1.6	3.1	3.7	2.2	6.6
5	5.0	1.5	3.4	2.0	5.4	2.9	4.5
6	3.7	2.8	5.1	2.4	2.6	5.2	2.6
7	4.4	3.4	2.6	4.2	3.8	3.6	
8	4.2	3.6	1.6	4.9	1.3	3.6	
9	4.3	0.9	1.5	5.8	2.4	4.0	
10	3.8	2.3	3.1	2.4	4.1	4.4	
11	4.0	2.1	0.0	3.3	1.7	3.5	
12	0.7	2.2	1.0	4.3	2.7	3.2	
年間平均	4.0	2.6	3.1	2.9	3.8	3.9	

注：伸び率は前年同月比（既存店比）の増減を示す。

衣料品を主力とするストアの販売状況は、以下の通り。

○ 大手百貨店の6月の販売は、一部を除き、全般的に堅調に推移した。

特に、富裕層を顧客とする高級百貨店が好調で、ニーマン・マーカスが7.7%増、サクス・フィフス・アベニューが5.3%増、ノードストロムが4.7%増となった。

このうち、ニーマン・

マーカスは、地域では南東部と西部、商品では女性用のコンテンポラリー・スポーツウェアと高級アパレルが特に好調であった。また、サクス・フィフス・アベニューでは、女性と男性用コンテンポラリー・アパレル、女性用のデザイナー・アパレルがベスト・セール品目であった。

中級百貨店では、ディラードが1.0%の微減、フェデレーテッドが1.7%の若干増となったが、コールズは7.1%増、ボン・トン・ストアーズは6.6%増、J.C.ペニーは4.3%増と伸びた。

このうち、コールズは、「6月の販売は、特に夏らしい気候の始まりで月初めの販売が好調であった。商品では、タンク・トップ、カプリス・パンツ、ショーツなどの季節商品が予想外に伸びた」と説明している。また、J.C.ペニーは、「地域では西部と南東部、商品では女性用のカジュアル・スポーツウェアとアクセサリ、子供用衣料品が特に好調であった」と述べている。

○ 大手衣料品専門店チェーンの6月の販売では、若者向け衣料品専門店チェーンの販売は斑模様であった。アメリカン・イーグルが11.0%増、エアロポステールが5.3%増、リミテッド・ブランドが3.0%増と伸びたが、ギャップは6.0%減、アバクロンビー&フィッチは4.0%減、パシフィック・サンウェアは2.7%減と落込んだ。

このうち、リミテッド・ブランドは、傘下小売店では、エクスプレス（男性・女性用衣料品専門店）が12%減、リミテッド・ストア（女性用衣料品専門店）が1%減となったが、ビクトリアズ・シークレット（女性用下着専門店）が6%増、バス・アンド・ボディワークス（バス用品専門店）が8%増と伸び、アウター・アパレル部門の減少を補った。

一方、衣料品専門店チェーン最大手のギャップは依然、客足が低調で、5カ月連続のマイナスとなり、傘下ストアでは、オールドネイビーが6%減、ギャップ・ストアとバナナリパブリックが4%減となった。

米主要小売店の2006年6月の販売状況

単位：100万ドル、%

小売店名	売上高	
		前年同月比
<百貨店>		
ボン・トン・ストアーズ	304	6.6
ディラード	623	-1.0
フェデレーテッド	2,367	1.7
J. C. ペニー	1,386	4.3
コールズ	1,315	7.1
ニーマン・マーカス	386	7.7
ノードストロム	827	4.7
サクス・フィフス・アベニュー	243	5.3
<衣料品専門店チェーン>		
アバクロンビー&フィッチ	243	-4.0
アメリカン・イーグル	235	11.0
アン・テラー・ストア	235	12.5
ドレス・バーン	129	6.0
エアロポステール	105	5.3
ギャップ	1,510	-6.0
リミテッド・ブランド	1,078	3.0
メンズ・ウエアハウス	159	3.7
パシフィック・サンウエア	126	-2.7
<ディスカウント・ストア>		
ターゲット	5,093	4.8
TJX	1,600	4.0
ウォル・マート	33,120	1.2

キャリアウーマン向け衣料品専門店チェーンのアン・テラー・ストアは12.5%増、ドレス・バーンは6.0%増と順調に推移した。

このうち、アン・テラー・ストアは、部門別では、アン・テラー部門（高級衣料品店）が6%増で11カ月連続の増加、アン・テラー・ロフト部門（手頃価格衣料品店）が19%増で3カ月連続の二桁増をそれぞれ記録した。両部門で大幅に伸びた商品は、アン・テラー部門ではドレス、布帛トップス、スカート、またアン・テラー・ロフト部門ではカジュアルでリラックスしたセパレート・アパレル、フェミニン・ニット・トップス、ファッション・パンツ、ショーツであった。

- 大手ディスカウント・ストアの6月の販売では、ターゲットが4.8%増、TJXが4.0%増と堅調に推移した。しかし、最大手の小売企業であるウォル・マートは1.2%増と昨年4月（0.7%増）以来の低い伸び率となった。同社首脳は、「ガソリン高騰と金利上昇の影響により、低所得者を中心とする当店顧客は食料品や日用品を優先して買っており、その上、一部地域の気温低下もあって、夏物衣料品の販売が低調

であった」と説明している。



◎ 2006年1～3月の繊維品輸入・東アジア諸国が大幅に増加

－中国からの輸入は減速、インド等東アジア諸国からの輸入が大幅に増加－

EU 統計局 EUROSTAT によれば、EU の 2006 年 1～3 月の繊維品輸入は前年比 8% 増の 246 億 7,309 万ドルで、中国の一部品目に枠が設定されたが、全体としての輸入は増加を続けている。

但し、昨年、中国、インドが枠フリーの恩恵を大きく享受し、中国は 41% 増、インドは 18% 増と大幅な増加を記録したが、中国には枠が設定されたこともあり、今年 1～3 月の中国からの輸入は 4% 増と大きく減速し、他方、インドは 18% 増と今年も順調に推移している。

また、昨年は、中国、インドの躍進の煽り受け、その他の東アジア諸国、地中海諸国、東欧諸国といった伝統的な輸入国からの輸入は総じて減少推移となったが、今年は、地中海諸国、東欧諸国が依然低迷しているのに対し、特にその他東アジア諸国からの輸入が大きく伸びているのが注目される。

ちなみに、昨年は何れも輸入が減少したバングラデシュが 27% 増、パキスタンが 9% 増、香港は 165% 増、インドネシア 31% 増、タイ 8% 増、スリランカ 27% 増、ベトナム 62% 増と今年は何れも大きく輸出を伸ばしている。

品目別では、原料関係は、綿類が 12% 減の 8 億 3,096 万ドル、糸類が 2% 増の 10 億 5,921 万ドル、また織物関係が 2% 減の 13 億 2,054 万ドルと、糸類の微増を除き各々低調な推移となっているのに対し、全輸入の 74% と圧倒的なシェア占める衣料品の輸入は、ニット製衣料が 11% 増の 78 億 5,313 万ドル、布帛製衣料が 7% 増の 102 億 5,084 万ドルと高い伸びを記録している。

なお、ニット衣料品の輸入ベスト 5 は、1 位中国 (8% 減)、2 位トルコ (1% 増)、3 位バングラデシュ (35% 増)、4 位インド (17% 増)、5 位香港 (202% 増)、また布帛衣料品の輸入ベスト 5 は、1 位中国 (5% 増)、2 位トルコ (6% 減)、3 位ルーマニア (9% 減)、4 位インド (34% 増)、5 位チュニジア (11% 減) となっている。

2006年1-3月のEUの主要国別輸入状況

単位：100万ドル、%

	2005年		2006年1~3月	
		前年比		前年同期比
全世界	90,716	105	24,673	108
中国	26,151	141	6,418	104
トルコ	13,613	104	3,556	100
インド	6,539	118	6,539	118
ルーマニア	4,978	95	1,193	94
バングラデシュ	4,590	95	1,441	127
チュニジア	3,327	94	862	94
モロッコ	2,931	92	760	96
パキスタン	2,536	87	702	109
香港	2,158	85	1,066	265
インドネシア	1,960	90	592	131
スイス	1,779	92	461	92
米国	1,600	104	430	108
ブルガリア	1,598	102	433	104
韓国	1,362	76	336	94
タイ	1,342	92	387	92
スリランカ	1,027	98	318	127
ベトナム	951	105	347	162
台湾	843	90	232	112

組合関係の会議と催事

【2006年7月】

輸出入

- I. 「外国為替の基本」講習会（大阪）を開催。
- II. 「繊維の基礎知識」研修会（東京）を開催。
- III. 日本繊維産業連盟常任委員会・懇談会を開催。

輸出

- I. 平成18年度第1回保険・受渡委員会、中近東市場委員会、織・編物委員会・欧米市場委員会合同委員会、不織布委員会、東アジア・大洋州市場委員会、原料委員会を夫々開催。
- II. 「大連国際服装繊維品博覧会」出品者説明会を開催。

輸入

- I. 「第2回組合運営に関するタスクフォース」開催。
- II. 中国繊維品進出口商会ほか各代表団が来所。

3日（月）

輸入（東京）「第2回組合運営に関するタスクフォース」を開催し、中国の雷存柱弁護士より「中国商標法の報告と質疑応答」が行われた。

4日（火）

輸出入（大阪）「外国為替の基本」講習会（輸出入組合及びテキスタイル倶楽部共催）が開催され、三菱UFJリサーチ&コンサルティング・国際事業本部貿易投資相談部・平尾次長より①為替②国際収支③並為替による国際決済④逆為替による国際決済⑤商業信用状⑥外国払い切手⑦両替⑧為替相場⑨外国為替法について講演があり、3団体より147名が受講した。

6日（木）

輸出入（東京）「繊維の基礎知識」研修会が有明TFTビル研修室で開催され、（財）日本繊維製品品質技術センターの関口・吉里両講師より「素材から見た繊維の知識」「繊維製品の品質検査、各種表示」についてそれぞれ講演があり、両組合員104名が受講された。

12日（水）

輸出（大阪）「平成18年度第1回保険・受渡委員会」が開催され、①安藤委員長（豊田通商）及び竹中副委員長（丸紅）を互選した後、②NEXI担当官よりNEXIの「新しい組合包括保険制度」、事務局より日・マレーシアEPAについてそれぞれ報告が行われた。

19日（水）

輸出（大阪）「大連国際服装繊維品博覧会」出品者説明会が輸出繊維會館BM第2会議室で開催され、出展組合員など15名が出席された。

- 輸入** (東京) 1.中国国際貿易促進委員会紡織行業分会関係者が来所され懇談した。
2.中国紡織品進出口商会代表団の姜副会長他が来所し懇談した。

20日 (木)

- 輸出** (大阪)「平成18年度第1回中近東市場委員会」が開催され、①木村委員長(丸紅)及び東田副委員長(蝶理)を互選した後、②中近東向け繊維品輸出の現状、見通し、問題点などについて意見交換を行い、③事務局よりGCC諸国とのFTAについて報告が行われた。

21日 (金)

- 輸入** (東京) 1.中国服装設計師協会代表団が来所し懇談した。
2.訪日ANIVECポルトガル衣類・縫製品工業会代表が来所され懇談した。

25日 (火)

- 輸出** (大阪)「平成18年度第1回織・編物委員会、欧米市場委員会合同委員会」が開催され、①織・編物及び欧米市場両委員会の委員長に林委員(伊藤忠商事)、織・編物委員の副委員長に筒井委員(豊田通商)、欧米市場委員会副委員長に山田委員(蝶理)を互選した後、②織・編物及び欧米市場向け繊維品輸出の現状、見通し、問題点などについて意見交換が行われた。

- 輸入** (東京) トルコ大使館ムラッタアダル一等参事官が来所され、意見交換を行った。

26日 (水)

- 輸出** (大阪)「平成18年度第1回不織布委員会」が開催され、①橋本委員長(伊藤忠商事)及び山口副委員長(三菱商事)を互選した後、②不織布輸出の現状、見通し、問題点などについて意見交換が行われた。

- 輸入** (東京) アパレル委員会(尾川委員長)海外調査ミッション報告会を開催した。

27日 (木)

- 輸出** (大阪)「平成18年度第1回東アジア・大洋州市場委員会」が開催され、①砂山委員長(伊藤忠商事)及び木村副委員長(丸紅)を互選した後、②東アジア・大洋州向け繊維品輸出の現状、見通し、問題点などについて意見交換を行い、③事務局より日本・マレーシアEPAについて報告が行われた。

- 輸入** (大阪) 1.「第14回絹委員会」(川村委員長)が開催され、①委員改選と正副委員長互選②最近のシルク情勢に関する意見交換③今後の委員会活動の方向性④その他について審議と意見交換が行われた。
2.日本黄麻製品輸入協議会「第120回運営委員会」(塩田委員長)が開催され①ジュートの含有物調査②環境展についてそれぞれ意見交換が行われた。

28日 (金)

- 輸出** (大阪)「平成18年度第1回原料委員会」が開催され、①千速委員長(丸紅)及び砂山副委員長(伊藤忠商事)を互選した後、②原料輸出の現状、見通し、問題点などについて意見交換が行われた。

31日(月)

輸出入(東京) 日本繊維産業連盟(前田会長)の常任委員会及び経済産業省製造産業局新旧局長等との懇談会が霞が関東京會館で開催され、輸出入組合の在京浜地区の役員が参加された。

8月のスケジュール(8月1日現在)

2日(金)	輸出	(大阪)	「大連国際服装紡織品博覧会」出品者打合せ会
8日(火) ~9日(水)	輸入	(東京)	「アパレル生産の実際知識」研修会
18日(金)	輸出入	(上海)	「第1回上海分会」
25日(金)	輸入	(小松)	「第90回寝具インテリア委員会」

お知らせ

－ 2006 年 9 月の輸入通関手続相談窓口開設日 －

2006 年 9 月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。
申告手続、品目分類、関税評価、暫 8 手続等々通関業務諸問題
についてご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 2006 年 9 月 13 日（水）及び 9 月 27 日（水）
2. 場 所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時 間 午後 1 時より午後 5 時まで
4. アドバイザー 片山 喬次

（元東京税関関税評価部門特別価格審査官）

5. 連絡先

Tel 番号 03（3270）0791

Fax 番号 03（3243）1088

E - Mail 0023@j t i a . o r . j p（片山）

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問い合わせ、
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以 上

組合員情報

○ 組合員の脱会

- （輸出） 株式会社中野商店（7月2日付け）
- 株式会社エフ・ジー・ノーション（7月10日付け）
- ニシオ株式会社（7月11日付け）
- 株式会社さえら（7月12日付け）
- 日貿株式会社（7月25日付け）